広報 Public Relations Kyotango

きょうたんご vol.140

主な内容

特　集

市制 10 周年を迎えた平成 26 年度の決算　ほか

市政トピックス

網野・久美浜地域で EV 乗合タクシー運行スタート　ほか

2015 平成 27 年 11 月号

10 月 23 日発行

写真：大宮売神社「秋祭り」（大宮町周枳）

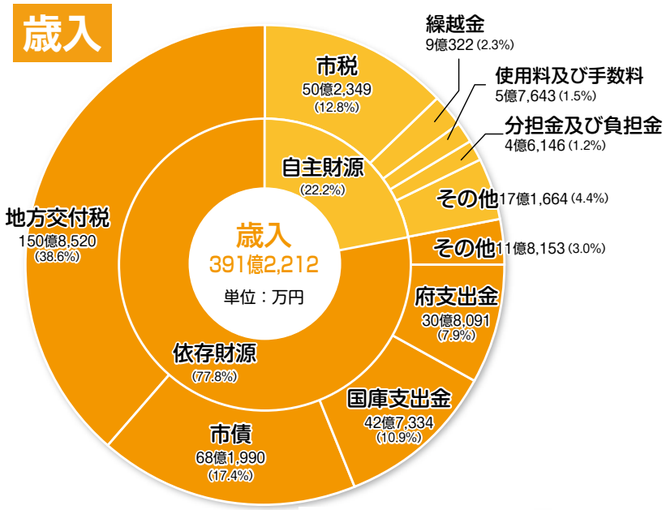
特集

市制10周年を迎えた 平成26年度の 決算

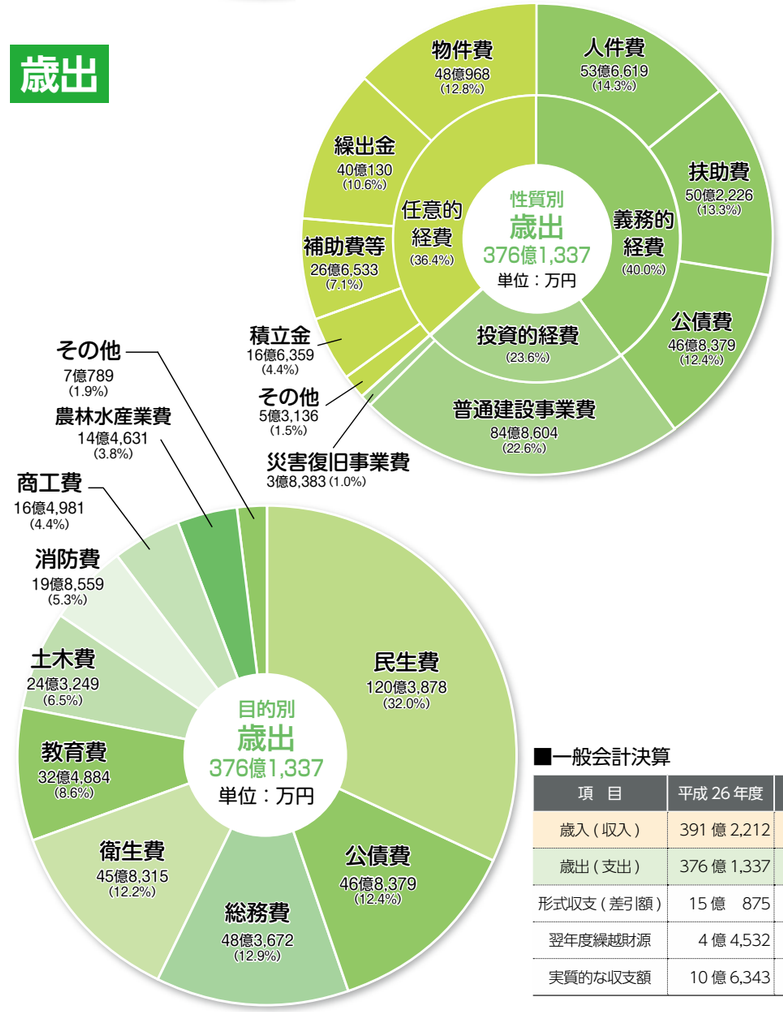
平成26年度の一般会計・特別会計・企業会計の各会計決算について、9月定例会に議案提出し、全会計とも認定されました。一般会計の歳入総額は、391億2212万円（前年度比17・2㌽増）で、歳出総額は、376億1337万円（同比15・8㌽増となりました。一般会計決算を中心に、平成26年度決算の概要をお知らせします。

◆ 円グラフで見る一般会計歳入・歳出決算の状況 ◆

歳入



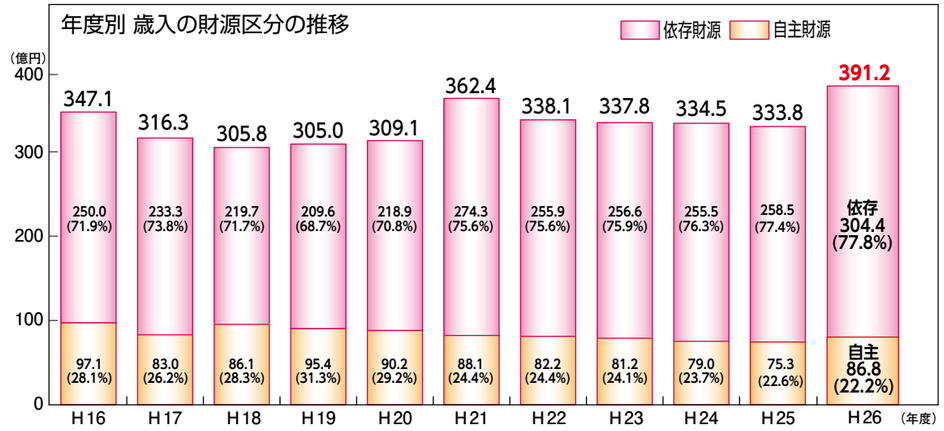
歳出



■一般会計決算　　単位：万円

項　目	平成26年度	平成25年度	前年度比較	
歳入（収入）	391億2,212	333億8,417	57億3,795	17.2%
歳出（支出）	376億1,337	324億8,095	51億3,242	15.8%
形式収支（差引額）	15億　875	9億　322	6億　553	67.0%
翌年度繰越財源	4億4,532	2億3,097	2億1,435	92.8%
実質的な収支額	10億6,343	6億7,225	3億9,118	58.2%

◆ 一般会計歳入・歳出決算の推移 ◆



10億6343万円の黒字 決算

歳入

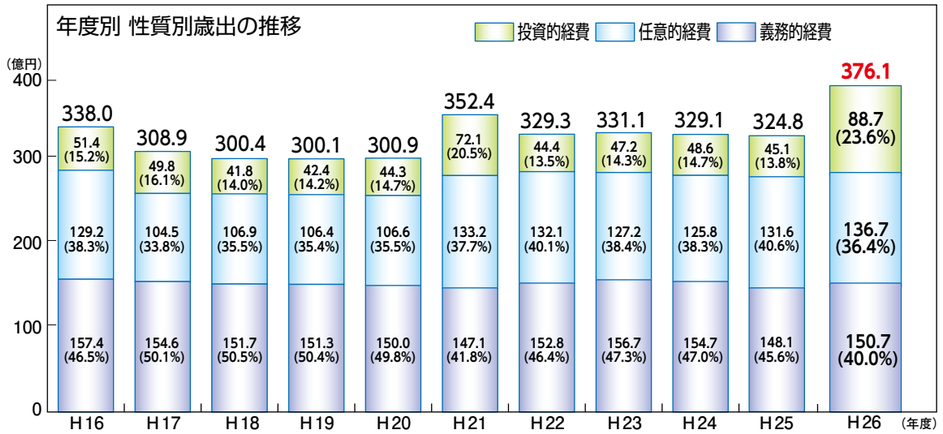
自主財源は約2割

歳入は、市税や使用料など市が自主的に収入できる自主財源と地方交付税や国府から交付される補助金などの依存財源に大別できます。

自主財源は22・2㌽で全体の約2割程度となっている反面、依存財源は77・8㌽と非常に高い割合を占めています。

自主財源の割合は減少傾向にあり、合併以降、最も低くなっています。これは、統合保育所の整備をはじめ、新火葬場建設や消防無線のデジタル化事業、小学校施設耐震化、再編交付金活用事業など多くの事業の実施に当たり、国・府の補助金や市債などの依存財源を活用したことによります。

本市は、依存財源に大きく頼った財政運営をしているため、今後も国府などの補助制度を活用し、財源を確保していく必要があります。



一般会計実質収支

一般会計決算の歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は15億875万円で、このうち27年度へ繰り越した事業に必要なお金4億4532万円を差し引いた実質収支も10億6343万円の黒字となりました。

歳出

統合保育所整備に25億8千万円

性質別での内訳では、人件費や扶助費、公債費などの義務的経費が歳出全体の4割を占めています。

補助金や委託料、特別会計への繰出金など市が任意に支出できる任意的経費は、36・4㌽で、割合は下がっていますが、金額は増加傾向にあります。

道路や河川、学校、保育所などを整備する普通建設事業費や豪雨などによる災害復旧事業費である投資的経費は、峰山、弥栄、久美浜町域での統合保育所整備事業、新火葬場建設事業などの大型の事業をはじめ、消防無線デジタル化事業、小中学校施設耐震化・施設改修事業などを実施したほか、平成25年度に発生した豪雨、台風による災害復旧事業の実施により、その割合は23・6㌽と大きくなっています。

市民総参加による「和のまちづくり」と市民総幸福の限りない増進と発展を目指して

平成26年度は、市制施行10周年という節目を迎える中、「第2次京丹後市総合計画」を策定、また京丹後市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」及び「総合戦略」、「地域再生計画」を全国に先駆けて策定し、直面する課題やまちづくりの発展に対し、速やかに対応できるよう環境整備に努めるなど、本市の新たな未来へ向け始動する年度となりました。

本市を取り巻く環境は、舞鶴若狭道、京都縦貫自動車道が全線開通し、京阪神、名古屋・中京圏などの大都市圏との交通アクセスが飛躍的に向上。これを絶好の機会と捉え、「北近畿新時代における経済の再生・好循環実現の総力推進」、「くらしの安全・安心の全力確保」に積極的に取り組み、市民総参加による「和のまちづくり」と市民総幸福の限りない増進と発展を目指し、さまざまな施策を行いました。

▼商工業総合振興条例等に基づき、商工業支援補助金を拡充したほか、京丹後米のブランド化促進や宇治茶産地確立への支援、松本重太郎翁顕彰プロジェクト・関西経済交流シンポジウムの開催、新シルク産業創造に向けた取り組みを始めるなど、産業の発展と雇用の促進に向けた事業を実施しました。

▼市制10周年を迎え、「大相撲京丹後場所」や市域全域をフィールドミュージアムとして、イベント、記念式典を実施。また「海の京都」構想を推進し、「海フェスタ京都」に取り組むとともに、かぶと山園地、小天端から浜詰海岸への遊歩道等の整備にも着手。また高速道路の延伸を見据えて整備を検討する観光・休憩所用地の適地調査を実施したほか、名古屋（東海）との方言・文化などの調査研究を行うなど、特色や魅力を活かした取り組みを推進しました。

▼統合保育所の整備をはじめ、コミュニティビジネス応援補助金や「京丹後市夢まち創り大学」の創設、スマート・エコ、子育て、バリアフリー住宅改修費の助成、再生可能エネルギー導入促進支援、木質バイオマスボイラーの温泉施設への導入など、未来へのまちづくりの振興につながる取り組みを推進しました。

▼「寄り添い支援総合サポートセンター」の運営、小中学校の耐震補強工事の実施、網野地域の内水処理、消防緊急デジタル無線および高機能消防指令システムの更新整備、新火葬場の整備などを実施したほか、米軍経ヶ岬通信所配置に伴い交付される再編交付金を活用し、住民の生活の利便性の向上、産業の振興などの各事業を実施するなど、安全・安心のまちづくりの促進に努めました。

■一般会計目的別歳出決算

単位：万円

目的区分	平成 26 年度	平成 25 年度	前年度比較	
議会費	2 億 4,708	2 億 3,743	965	4.1%
総務費	48 億 3,672	48 億 3,556	116	0.0%
民生費	120 億 3,878	95 億 6,819	24 億 7,059	25.8%
衛生費	45 億 8,315	34 億 9,770	10 億 8,545	31.0%
労働費	9,378	9,084	294	3.2%
農林水産業費	14 億 4,631	15 億 7,138	△ 1 億 2,507	△ 8.0%
商工費	16 億 4,981	11 億 2,047	5 億 2,934	47.2%
土木費	24 億 3,249	21 億 9,280	2 億 3,969	10.9%
消防費	19 億 8,559	12 億 7,299	7 億 1,260	56.0%
教育費	32 億 4,884	30 億 2,006	2 億 2,878	7.6%
災害復旧費	3 億 6,703	1 億 7,720	1 億 8,983	107.1%
公債費	46 億 8,379	48 億 9,633	△ 2 億 1,254	△ 4.3%
計	376 億 1,337	324 億 8,095	51 億 3,242	15.8%

◆ 一般会計歳出の主な内容 ◆

総務費

▲京丹後市制 10 周年記念事業 1,045 万円

民生費

▲統合保育所整備事業 25 億 8,629 万円

衛生費

▲新火葬場整備事業 11 億 1,135 万円

商工費

▲松本重太郎翁顕彰プロジェクト・関西経済交流シンポジウム開催事業 587 万円

商工費

▲海の京都推進事業 895 万円

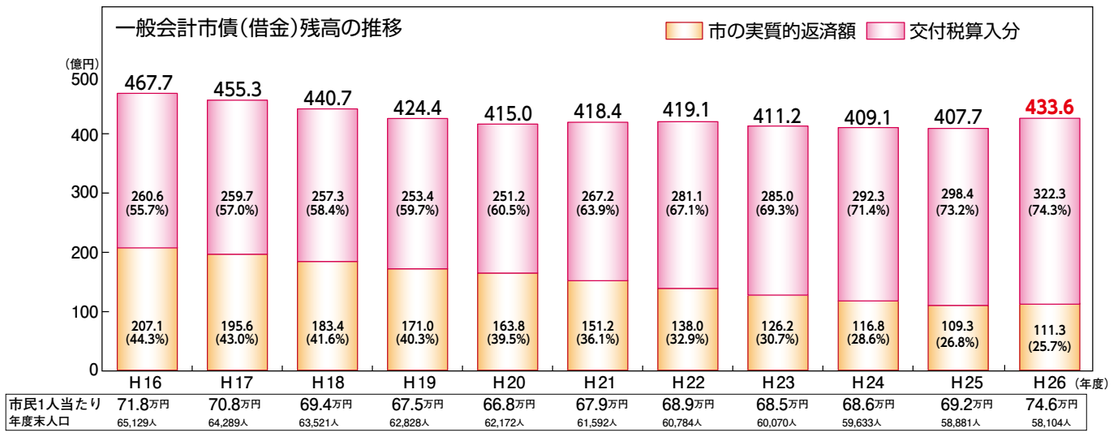
消防費

▲消防救急デジタル無線等整備事業開催事業 7 億 5,399 万円

教育費

▲小中学校施設耐震化事業 5 億 7,459 万円

◆ 市債（借金）と基金（貯金）の状況 ◆

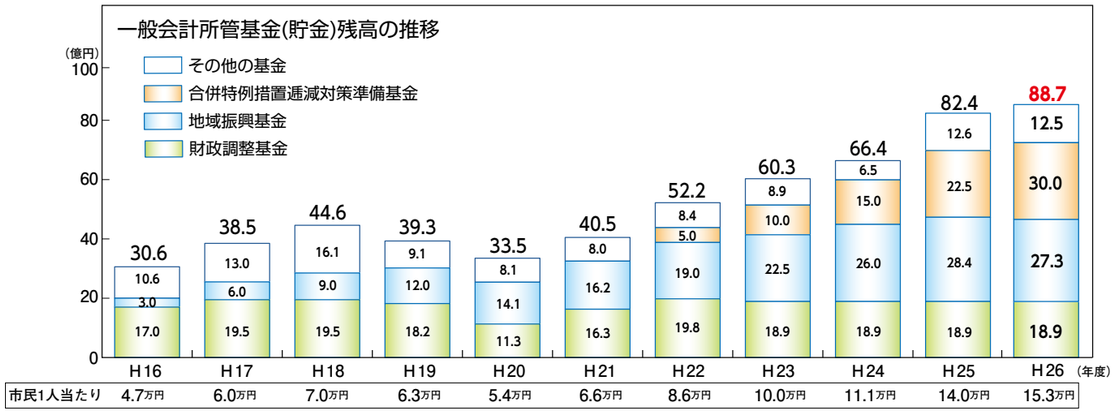


市債（借金）

平成26年度末の一般会計市債（借金）の残高は、433・6億円で、前年度と比べると25・9億円（6・4㌽）の増加となりました。これは、統合保育所整備や新火葬場の整備など大型の建設事業の財源として市債を多く借り入れたことにより、一時的に増加したものです。

この市債返済の一部については、国の地方交付税で一部措置されるものもあり、平成26年度末では74・3㌽が国から措置されるため、市民の税金などで返済しなければならない実質的な残高は、25・7㌽となっています。

本市は合併以降、市債残高の抑制に努めており、平成16年度末と比較すると34億円減少しているとともに、返済額の70㌽が地方交付税で措置される合併特例債等を有効に活用しているため、市の実質的な負担を軽減しています。



基金（貯金）

平成26年度末の一般会計の基金（貯金）残高は、88・7億円で、前年度と比べると6・3億円（7・7㌽）増加しています。

これは、平成27年度から普通交付税の合併特例措置の逓減による、急激な財源の縮小に伴う市民サービスの低下を抑制するため、「合併特例措置逓減対策準備基金」に7・5億円、合併特例債を活用した「地域振興基金」に2・4億円、過疎対策債を活用した過疎地域振興基金に1・6億を積み立てたほか、再編交付金を活用し、複数年度にわたり実施する事業の財源として「再編交付金事業基金」を創設し4・6億円を積み立てたことによるものです。

本市は合併以降、厳しい財政状況が続く中、持続可能な財政運営を進めるため、財政調整基金をはじめとした基金残高の確保に努めています。

※「逓減」とは、数量が次第に減少すること。

◆ 特別会計・企業会計の決算概要 ◆

特別会計は、特定の収入（保険料や使用料など）により特定の事業を行うため、一般会計と区別している会計で、現在14の特別会計となっています。各特別会計の決算状況は左表のとおり、全ての特別会計で黒字決算となっています。

また企業会計は、地方公営企業法の適用を受けてその事業収入により経営を行うために設けられている会計です。本市には水道事業と病院事業の2つの企業会計がありますが、平成26年度決算では、いずれも赤字となっており、厳しい経営状況となっています。このため、経営改善に向けて、さまざまな取り組みを進めていきます。

《国民健康保険・上下水道事業会計決算は7ページ～9ページ関連記事》

	会計名	歳入（収入）	歳出（支出）	収支差引額
特別会計	国民健康保険事業	71億5,029	70億8,363	6,666
	国民健康保険直営診療所事業	4億　106	3億7,356	2,750
	後期高齢者医療事業	6億7,105	6億6,632	473
	介護保険事業	58億8,022	58億5,938	2,084
	介護サービス事業	6億7,090	6億6,047	1,043
	簡易水道事業	14億8,497	14億1,973	6,524
	集落排水事業	4億　137	3億8,228	1,909
	公共下水道事業	29億2,474	28億8,378	4,096
	浄化槽整備事業	2億3,305	2億2,332	973
	工業用地造成事業	1億9,392	1億9,148	244
	宅地造成事業	4,508	2	4,506
	市民太陽光発電所事業	4,536	3,158	1,378
	峰山財産区	640	14	626
	五箇財産区	172	9	163
	（参考）　合計	201億1,013	197億7,578	3億3,435

会計名		収　入	支　出	収支差引額
企業会計 水道事業	収益的	6億6,334	7億7,728	△1億1,394
	資本的	4,107	2億　346	△1億6,239
病院事業	収益的	66億　888	67億2,108	△1億1,220
	資本的	5億3,974	8億6,844	△3億2,870

※収益的：営業活動などに伴う収支
※資本的：建設改良事業などに伴う収支
単位：万円

◆ 財政健全化判断比率の状況 ◆

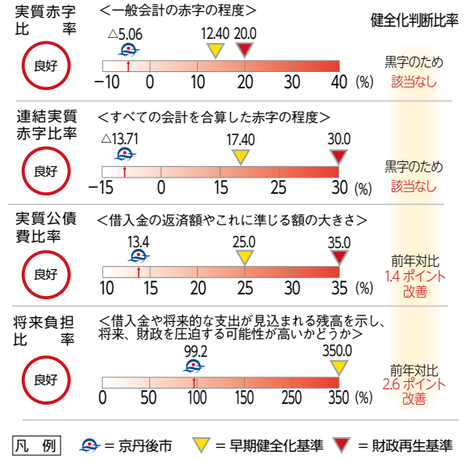
財政健全化判断指標は全て「基準内」

実質公債費比率1・4ポイント改善
将来負担比率2・6ポイント改善

地方自治体は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、財政指標の公表が義務付けられています。

この法律では、地方自治体の財政の健全度を表す指標において、「早期健全化基準」または「財政再生基準」を超えると、財政健全化計画を策定することが義務付けられています。

本市の全ての指標は、健全化判断比率の基準内にあり、良好な状態となっていますが、依然として厳しい財政状況が続いているため、健全な行財政運営に引き続き努めていく必要があります。



◆ 財政健全化に向けて ◆

未収金は約9億4千万円

解消に向けた取り組みを推進

一般会計をはじめ全会計の未収金の総額は約9億4千万円で、多額の未収金となっています。

市民負担の公平性、財政の健全化の観点からも、未収金の解消に向け、より積極的な取り組みを進めます。

本市合併による特例措置については、合併特例債の活用は平成31年度まで、普通交付税の合併算定替の特例については、平成27年度から逓減がはじまっています。

本市は、まだまだ多くの行政課題があり、一層厳しい財政状況が予想されるため、行財政改革や財政の健全化を一層進め、限りある財源を効果的に配分し、京丹後市が一丸となって本市の未来発展に向けて取り組んでいく必要があります。

市監査委員　決算審査意見書から　<要旨>

平成26年度は市制施行10周年を迎える節目の年度で、産業・雇用、安心安全なまちづくりなど5分野を柱として、さまざまな施策が実行された。

大型事業については、統合保育所、新火葬場、消防救急無線デジタル化事業が実施されたほか、災害復旧事業では、繰越分と台風で被災した施設等の復旧が行われた。今後も、市民の生命と財産を守るうえで迅速な対応が望まれる。

市債残高は、前年度まで3年連続で減少していたが、大型の事業が集中したことにより増加となった。市債借入については、償還に対して交付税措置のある有利な起債を心掛け、償還に占める一般財源の割合は減少した。基金残高は増加し、財政指標についても良好な数値であり評価できるものの、歳入における自主財源の割合は下がり地方交付税等の依存財源に大きく頼った財源構造となっている。

平成27年度から普通交付税等の逓減が始まり、平成32年度からは合併特例措置がゼロとなる。歳入に見合った財政規模とするため、事務事業について必要性等を再検証し、取捨選択により歳出抑制することが必要不可欠である。限られた予算と人材を有効に活用するには、執行機関だけの問題ではなく、市民、議会を含め市政の効率化や省力化に努める必要がある。市民福祉と生活基盤の充実を図り市民が将来に希望を持って生活できるよう、一層の努力を望むものである。

H26 国保会計決算

国民健康保険の医療費負担は年々増加
1人当たりの医療費は31万8千円

国保だより

厳しい国保財政の継続

平成26年度国民健康保険事業特別会計の決算は、歳入71億5029万円、歳出70億8363万円となり、歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は6666万円の黒字となりました。

これは、国民健康保険税や国・府などからの交付金・支出金などの収入の減少と、保険給付費や拠出金・返還金などの支出の増加に対処するため、前年度からの繰越金と国民健康保険の事業基金からの繰入金などで対応した結果ですので、この繰入金などを差し引いた単年度収支では大きな赤字となり、国保会計の財政運営は非常に厳しい状況にあります。

国民健康保険税と保険給付費の状況

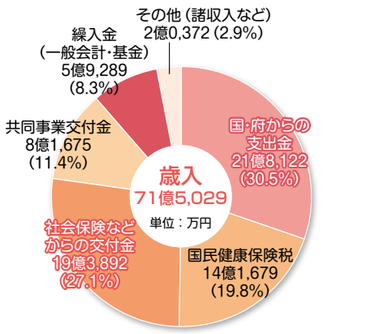
歳入総額の約20パーセントにあたる国民健康保険税は、14億1679万円となり、被保険者の減少などから前年度を5718万円下回りました。一方で収納率（課税した額に対する収入を得た額）においては、京都地方税機構の徴収努力やコンビニ収納の定着などにより、前年度を上回る結果となりました。

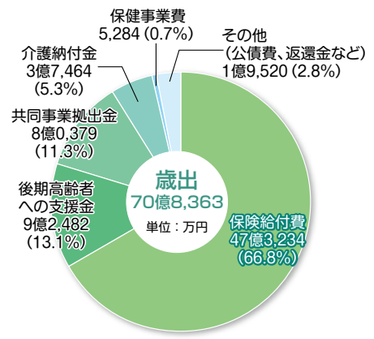
一方、医療費や出産育児一時金・葬祭費などの保険給付費は47億3234万円に上り、歳出総額の約67パーセントを占め、被保険者の減少にもかかわらず年々増加しています。「1人当たりの保険税」は7万8629円となり、前年度を834円下回った一方で、「1人当たりの医療費」は31万7681円となり、前年度を9740円上回り年々大きく増加しています。

健康管理と医療費の適正化

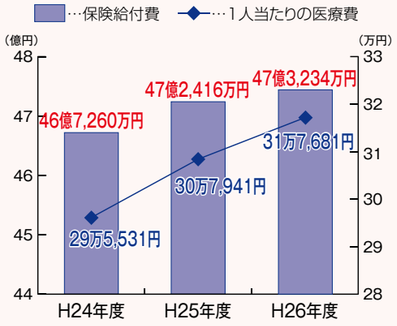
国民健康保険は、誰もが安心して医療を受けられる医療制度を担っている一方、高齢化や医療の高度化などによる医療費増加が財政運営を圧迫しています。病気の予防や早期発見早期治療に繋がる健診・保健指導・人間ドックの活用を推進し、健康管理と医療費の適正化に努めていきますのでご協力お願いします。医療費分析やジェネリック医薬品の普及推進、資格管理や医療費請求の審査を徹底し、今後予定されている都道府県単位での財政運営に繋がるように、積極的な取り組みを行っていきます。

歳入・歳出の財政状況（割合）





保険給付費と1人当たりの医療費



DATA

保険税・医療費を被保険者1人当たりに換算すると…

医療費（支出）	H25	307,941円	前年度比9,740円の増
	H26	317,681円	
保険税（収入）	H25	79,463円	前年度比834円の減
	H26	78,629円	

単位：万円

	H25	H26
歳入総額	729,996	715,029
歳出総額	712,484	708,363
差引額	17,512	6,666
単年度収支	△9,020	△24,846

単位：世帯／人

（年度末）	H25	H26
世帯数	9,805	9,626
被保険者数	18,010	17,408
うち一般	16,971	16,541
うち退職	1,039	867

京丹後市の国保加入者（平成27年9月30日現在）　世帯数：9,549世帯、被保険者数：17,158人

問 保険事業課 ☎69-0220

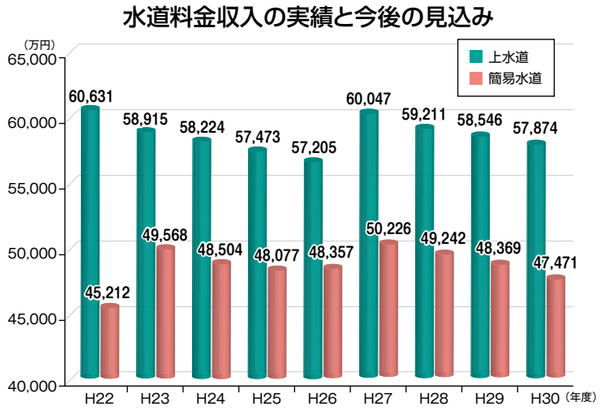
H26 水道事業決算

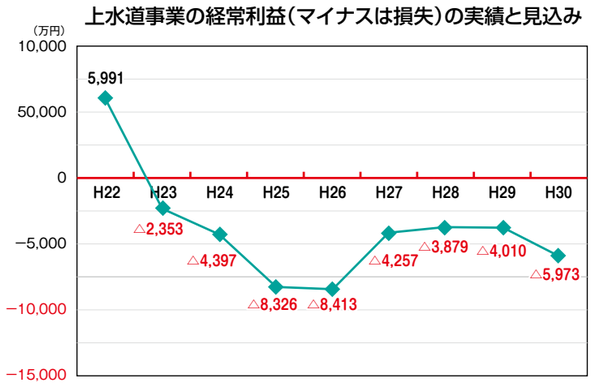
平成29年度の上水道と簡易水道との経営統合に向け事業を実施

上水道事業が単年度収支で赤字

市の水道事業は、水道利用者の45パーセントの皆さんにご利用いただいている簡易水道事業と55パーセントの皆さんにご利用いただいている上水道事業とをそれぞれの特別会計で経営しています。

平成26年度の決算は、給水人口の減に伴う料金収入が減少する一方、電気代の値上げによる光熱水費の増加などにより、上水道事業・簡易水道事業ともに厳しい決算となりました。上水道事業では、昨年に引き続き単年度の経常収支が赤字となり、経常損失の額が8413万円、累積収支（年度末未処分利益剰余金）は4億5618万円となりました。簡易水道事業では、消費税還付金の増や施設維持管理委託の見直し等による維持管理経費の減により若干の改善が見られ、単年度で685万円の黒字となりました。





水道事業の今後の収支見込み

上水道・簡易水道事業ともに、給水人口の減に伴う料金収入の減少が続いています。また、61の浄水場、121の配水地など多くの施設を抱え、その老朽化に伴う施設更新費（起債償還）の増加により、今後更なる収支の悪化が見込まれます。

水道事業経営計画を策定 ～水道料金を約7パーセント値上げ～

平成29年度には上水道と簡易水道とを一つの水道事業として統合することとしています。今後も安定給水を確保するためには、水道事業の健全かつ安定的な経営が必要であることから、施設の統廃合や有収率の改善等による費用縮減、さらには利用者負担の見直しなど、収支改善のための水道事業経営計画を策定しました。この経営計画に基づき、引き続き費用縮減に努めるとともに、平成27年度から水道料金の値上げを行いました。

問水道整備課 ☎69-0580

平成26年度 主要事業

上水道では、善王寺浄水場取水施設改良工事および安定給水を行うための配水管更新を中心に実施しました。簡易水道では、甲山浄水場の施設改良工事および三谷導水管布設工事等の久美浜簡易水道の統合事業を中心に実施しました。その他、京丹後市水道事業経営計画を策定しました。

更新した久美浜町の甲山浄水場

H26 下水道事業決算

下水道3会計、一般会計からの繰入金で黒字を維持

下水道3会計（集落排水事業・公共下水道事業・浄化槽整備事業）を合計した平成26年度の決算額は、歳入35億5916万円、歳出34億8939万円となり、繰越財源17万円を差し引いた実質収支は6960万円の黒字となりました。

これは、一般会計から多額の繰入金があるためで、その繰入額は年々増加し歳入の32パーセントを占めており、この繰入金なしでは会計を維持できない状況となっています。

永続的で安定した下水道会計運営のためには利用者の増加が課題

平成26年度には、下水道使用料について消費税率の改定に伴う料金転嫁を行うとともに、合併以来10年間据え置いてきた使用料の値上げを行いました。一方、浄化槽を使用されている方については、ブロワにかかる電気代の負担軽減を図るため使用料を減額しました。

汚水を処理するための終末処理場の運転管理や下水道管の清掃、修理など下水道施設の維持管理にかかる多額の費用や公債費の一部については下水道使用料で賄うこととしていますが、現状、施設管理費すら賄えていないことから下水道事業の健全な運営のためには接続率の向上が必要不可欠となっています。

快適な暮らしを目指して

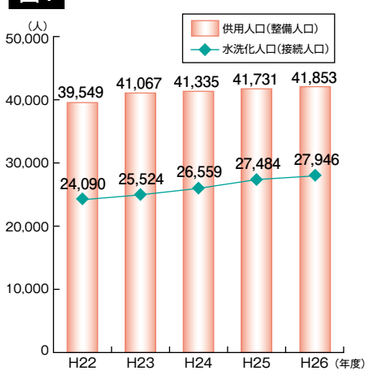
図1は、平成22年度から26年度の5カ年の下水整備人口と接続人口をグラフ化したものです。この間、下水整備人口は2304人、接続人口は3856人増加し、接続率は平成26年度末で66・8パーセントとなっています。

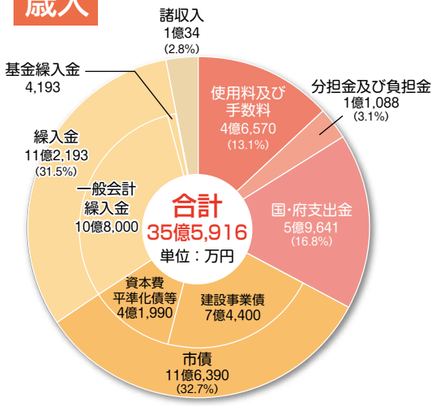
市では、接続率向上のため、職員および下水道普及推進員による戸別訪問の実施、また、排水設備アドバイザー派遣事業や浄化槽から下水道に接続した場合の使用料減額、水洗化推進支援事業補助金など、より接続しやすくするための制度の充実を図っています。

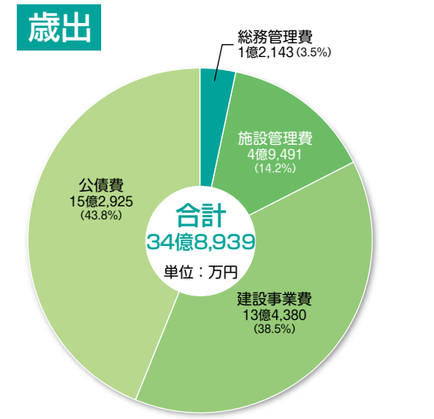
公共用水域の水質保全と水洗トイレによる生活改善のため、公共下水道や集落排水が供用開始となっている区域において、未接続の方は早期の接続をお願いします。

問下水道整備課 ☎69-0550

図1







平成26年度 主要事業

公共下水道事業では峰山、大宮、網野処理区において、新たに下水道管を5.8キロメートル布設し、17.6ヘクタール供用開始しました。また、下水道施設の長寿命化や耐震化のための調査を行いました。集落排水事業では、家屋の新築などに伴う下水道管の布設工事を行い、浄化槽整備事業では、69基の浄化槽を整備しました。

長寿命化、耐震化対策を進める久美浜浄化センター（平成9年供用開始）

目　次
index

特集 市制10周年を迎えた平成26年度の決算 P2

市政トピックス P10
網野・久美浜地域でEV乗合タクシー運行開始／市民総幸福のまちづくり推進条例制定 ほか

京都府のひろば P14

市政guide P15
マイナンバー制度がはじまりました／DVはあなたの身近で起きている問題です。 ほか

まちのわだい P18
五穀豊穣願い多彩な伝統芸能を披露／中学生が「地域ふれあいサロン」体験 ほか

みんなの広場 P20
表彰／旬★感たんごはん「カレイのへしこペペロンチーノ」 ほか

健康だより P22

生命の絆 P23

情報ファイル P24
市の文化財／ピックアップ／和気泰来／図書館だより ほか

京丹後人⑰ P28
峰山高等学校 ロボット研究部

今月の「きょうたんごで“いいね”」

大宮売神社で“秋祭り”

今月の表紙は、大宮売神社で行われた秋祭りの様子を撮影しました。

境内では、神輿を担いだ男衆が威勢のいい掛け声で練り歩き、神楽、三番叟、笹ばやし、太刀振りといった伝統芸能が次々と披露され、大勢の見物客を魅了していました。（関連：まちわだい18㌻）

交通

全国初の地方創生型 EV乗合タクシー運行開始

網野・久美浜地域で人の輸送に加え「モノとサービス」の輸送も展開

出発式で鍵の模型を受け取るEV乗合タクシーの運転手

人と環境にやさしい次世代へ向けた公共交通の実現に向け、その柱となるEV乗合タクシーの運行が10月1日、タクシー空白地の網野町および久美浜町でスタートしました。

EV乗合タクシーは、市民や観光客らの移動手段に加え、**全国初の買い物や病院予約などの代行、小荷物輸送サービス**が受けられることが特徴です。

運行開始の前日、久美浜駅前で出発式が開催され、約30人の関係者らが出席し、全国初となる代行・輸送サービスを備えたEV乗合タクシーの運行開始を祝いました。

式では、中山市長のあいさつに続き、国土交通省近畿運輸局の金指和彦自動車交通部長が「全国の先駆けとなる新たな取り組みとして期待しています」と祝辞を述べました。

試乗した湊宮老人クラブの和田正直会長は、「静かで乗り心地が良く、代行サービスも魅力。会員に広く利用を呼び掛けたい」と話していました。

問 丹後海陸交通株式会社 ☎0772（42）0321
予約専用ダイヤル ☎0772（42）0390
随時受付（7：30～18：30）

商工業

サテライトオフィス開所

ふるさとテレワーク実証事業

市外から企業・人材誘致の促進を図り、新たな事業の創出や人口増加を目指す「ふるさとテレワーク京丹後実証事業」を行うサテライトオフィスの開所式を10月1日、アミティ丹後で開催しました。

開所式には、同事業でコンソーシアム（共同体）を構成する企業をはじめ、関係者ら約30人が出席し、事業の成功を誓いました。

オフィスは、スマートフォンのアプリ開発などを行う3企業が利用。27年度末に事業の成果をまとめ検証します。

オフィスは、アイデアを書き込めるホワイトボードで仕切られ、床は人工芝で自然の雰囲気を演出

文化

ことばと文化シンポジウムを開催

兄弟のようなことばを持つ両地方 ～名古屋（尾張）と丹後～

㊤３人のパネラーが両地域の関係について意見を述べたパネルディスカッション㊦河村市長との対談で丹後のことばや文化が名古屋にもたらされたのではと発言する中山市長

本市では、名古屋（尾張）と丹後のことばが似ており、そのルーツを探る調査をきっかけに、名古屋と交流を進め、その一環として9月26日、名古屋市博物館で「ことばと文化シンポジウム」を開催しました。

シンポジウムでは、河村たかし名古屋市長と中山市長が「名古屋・丹後の大交流新時代」をテーマとする対談でスタート。河村市長は、「丹後と名古屋の言葉が似ているのは、織田信長の家臣の明智光秀や娘の細川ガラシャ、丹後を支配した細川家が関係している」、中山市長は「丹後のことばは名古屋だけでなく、余呉（滋賀県長浜市）や岡山のことばとも似ている」と述べ、さらに『秀吉の枷』を書いた加藤廣さんが小説で豊臣秀吉の出身を丹波とするなど古代から大陸と交流を持つ丹後のことばや文化が、丹後から名古屋などにもたらされた側面を強調するなどユーモアあふれる内容で対談は盛り上がりました。

続いて、糸井通浩龍谷大学名誉教授が「尾張（名古屋）と丹後のことばがなぜ似ているのか」について講演。「理由は、都からの位置関係や日常生活での交流などが考えられるが、氏族の集団的移住も検討すべき」と述べました。

鈴木正信文部科学省教科書調査官は「海部氏系図から見る尾張氏と海部氏」を演題とし、「両氏族とも火明命を始祖とし、尾張国内には海部系氏族が分布し、尾張氏が統括した。海部氏系図は三つの部分からなり、火明命を始祖とする系譜が8～9世紀に付け加えられた」と述べました。

最後に糸井教授が進行役で、中山市長、鈴木調査官、村木誠名古屋市博物館学芸係長によるパネルディスカッションで両地域の関係について内容を深めました。

まちづくり

「市民総幸福のまちづくり推進条例」制定

誰もが幸福をますます実感できるまちづくりに向け

「市民総幸福の最大化とその限りない増進・発展」を目指したまちづくりを進める本市では、「幸福のまちづくり研究会」を設置し、幸福度指標などの作成や、全国65の自治体で構成する「幸せリーグ」での積極的な活動を行っています。

一方でグローバル化、情報化、少子高齢化等に伴い市民の価値観が多様化し、明確なビジョンによる行政運営が必要となる中、『幸福』をまちづくりの理念や中心軸とする「市民総幸福のまちづくり推進条例」を制定しました。

本条例は、市民それぞれに異なる幸福感があることが尊重され、市民総幸福のまちづくりに向けた基本的で共通的な事柄を定め、市民の皆さんと、理念を共有して推進するためのもので、「市民総幸福」をうたう条例としては、本邦初となります。

今後は、本条例の周知を広く行いつつ、「誰一人置き去りにされることのないまちづくり」を市民の皆さんとともに進めていきます。

※条例の詳細は、市ホームページで公開しています。

まちづくり

行待重雄さんを選任

にぎわい創り推進員が交代

市では、地域の特性や特徴を生かしながら市民と行政が協働して地域自治活動などを活性化し、地域ににぎわいを創出するため、「地域にぎわい創り推進員」を市民局に配置しています。

今年9月1日から、峰山町の推進員が交代し、新たに行待重雄さん（峰山町吉原）を配置。市民局と一緒に、市民目線で地域のにぎわいを創出します。

観光

アジア、全国のジオパーク関係者が集結

ジオパークの未来、魅力を語り交流

アジア各国のジオパーク関係者等が、ジオパークの現状や課題を共有し、今後のあるべき姿を探る「第4回アジア太平洋ジオパークネットワーク（APGN）山陰海岸シンポジウム」（9月16日～20日）ならびに全国のジオパークガイドが集い、ガイドの役割やノウハウ等を議論する「第1回日本ジオパークネットワーク（JGN）ガイドフォーラム」（9月15日～16日）が、京丹後市をはじめ山陰海岸ジオパークエリアの関係市町で開催されました。

9月15日、網野町のアミティ丹後で開催のJGNガイドフォーラムには、全国各地から関係者が集結。映像を使ってジオパークエリアの魅力を紹介する「バーチャルジオツアー」や、翌16日には、琴引浜や立岩などを巡るツアーが行われました。

バーチャルジオツアーでは、9地域のジオパークガイドが、代表的なジオサイトをはじめ地域の文化や名物などについて、方言や小道具を使い映像で紹介しました。

同ツアーのコーディネーターを務めた桜島ミュージアムの福島大輔さんは、「テーマの設定とストーリー性が重要。表情やジェスチャーで伝わり方も違い、方言を使うことも魅力的」とアドバイス。現地ツアーでは、琴引浜ガイドシンクロのメンバーが、鳴砂の仕組みや地域住民による浜の保全活動について紹介しました。

翌16日、APGN山陰海岸シンポジウムが開会。本市のジオサイトを巡るツアーには、マレーシアや中国の関係者が参加し、まちづくりサポートセンターのメンバーから、丹後町袖志の棚田や大成古墳群の成り立ちについて説明を受けたほか、丹後古代の里資料館で勾玉づくりを体験しました。

袖志の棚田でガイドを務めた田中千寿子さんは、「海外の方なので、緊張した。（通訳との）間のとり方が難しかったけど、楽しかったです」と笑顔を見せていました。

17日からは、豊岡市をはじめ、山陰海岸ジオパークエリアの各地域で基調講演や現地ツアーなどが開催され、ジオパークに関する情報共有や交流を図りました。

大成古墳群から立岩を望む参加者たち

人権

法務大臣から委嘱

人権擁護委員に小西さん 藤田さん

人権擁護委員の任期満了および退任に伴い、法務大臣より小西康徳さん（久美浜町小桑）、藤田一彦さん（弥栄町黒部）が新たに委嘱されました。

委嘱状伝達式は、10月8日に京丹後市役所であり、法務大臣の委嘱状が肥田上京都地方法務局京丹後支局長から手渡されました。任期は平成30年9月30日までの3年間です。

小西　康徳さん

藤田　一彦さん

庁舎整備

市役所本庁舎整備検討委員会を開催

本庁機能集約化基本方針に沿って本庁舎整備を検討

平成27年度第1回京丹後市役所本庁舎整備検討委員会（前田史由委員長）が、9月16日に京丹後市役所で開催されました。

同委員会では、本年2月に策定された「京丹後市役所本庁機能集約化基本方針」に沿って、峰山庁舎近辺に集約化する本庁機能や庁舎整備場所、整備費用などの検討資料をもとに、本庁舎の整備に関して審議しました。

委員からは、「市民の利便性、行政運営の効率性、災害対応等を考えると、できるだけ多くの本庁機能を集約化すべき」「少子高齢化の中では、整備費用を抑えることを優先すべき」「峰山の京都銀行周辺の交通渋滞対策と、駐車場の管理方法を検討してはどうか」等の意見が出されました。

次回の会議では、本庁舎の整備規模、整備内容等について委員会としての意見をまとめることとしました。

弥栄市民局を移転

弥栄市民局を旧京丹後市弥栄保健福祉センターに移転し、9月24日から新弥栄庁舎で業務を開始しています。電話およびファクス番号はこれまでどおり。

※シルバー人材センター、社会福祉協議会、総合サービス㈱も同庁舎に移転しました。

新弥栄庁舎の窓口

財政

9月定例市議会で一般会計補正予算（第3号）が成立

観光、ビジネス、福祉推進へ6億追加

山陰近畿自動車道（仮称）大宮森本ICの開通準備、新経済戦略等にもとづく産業の振興、宇川診療所公設化整備関連の経費など、6億214万円を追加し、補正後の予算総額を343億1744万円とする平成27年度一般会計補正予算（第3号）が10月2日の9月定例市議会で可決、成立しました。

観光・休憩所の整備事業　2505万円

山陰近畿自動車道（仮称）大宮森本IC開通を控え、京丹後市を訪れるかたなどに、快適な環境を提供するため、観光・休憩所の整備に向け準備を行うとともに、多様な設備機能のあり方について検討するためのワークショップを開催します。

ウェルカムロードの環境整備事業　1670万円

山陰近畿自動車道（仮称）大宮森本IC開通を控え、「ウェルカムロード」として、ICアクセス道路となる市道周枳森本線への植栽整備等を実施します。あわせて観光拠点施設の丹後王国「食のみやこ」へのアクセス道路の市道丹波島津線の支障木の伐採等を実施します。

金融機関連携推進事業　84万円

株式会社京都銀行、京都北都信用金庫、但馬信用金庫とそれぞれ締結した『地域産業振興に関する連携協定』に基づき、金融機関ネットワークを活用した「ビジネスマッチング事業」、「観光誘客事業」、金融機関が行う経営支援・海外進出支援セミナーなどの「人材育成事業」など、地域金融機関との産業振興に向けた連携事業を実施します。

京丹後市織物業生産基盤支援事業補助金　5000万円

京都府の「伝統産業生産基盤支援事業費補助金」との併給が可能な「織物業生産基盤支援事業補助金」を増額し、伝統産業である織物業およびその関連産業の事業継承と新たな事業展開を支援します。

テレワーク事業者支援事業補助金　825万円

総務省の「ふるさとテレワーク推進のための地域実証事業」の採択を受け、テレワークによる本市に実証的に進出する企業などに対し、京丹後市への立地へとつなげていくため、実証段階の経費を支援します。

地域経済循環創造事業補助金　8003万円

民間事業者が地元金融機関から融資を受けて行う、地域資源活用や地元雇用など地域経済循環効果が期待できる事業を支援します。

コミュニティビジネス応援補助金　1000万円

地域課題の解決に対し、ビジネスの手法を取り入れた事業に取り組む地域活動団体に対して、事業実施に係る経費を支援します。

※補正予算の詳細は、市ホームページをご覧ください。

高齢者福祉施設整備事業　8827万円

宇川診療所の2階部分を地域密着型特別養護老人ホームとして運営するため建物を購入するとともに、事業を実施する法人に対し施設整備などに係る経費を助成します。

行政

中山市長、京都府市長会 会長に就任

平成27年度京都府市長会秋季定例会を開催

10月6日、宇治市で開催された「平成27年度京都府市長会秋季定例会」において、中山市長が京都府市長会（府下15市で構成）の会長に就任しました。

このほか、各市との関わりの深い、国・府への要望議案等について審議が行われました。

安全安心

秋の全国交通安全運動スタート式を開催

市全域で事故防止を呼び掛け

9月21日から30日にかけて実施される「秋の全国交通安全運動」のスタート式を9月18日、峰山こども園で開催しました。

式には、「京丹後市笑顔あふれる安全・安心まちづくり推進委員会」の委員約80名が参加。大村隆副市長が交通事故防止を呼び掛けたほか、園児が力強く無事故宣言を発表しました。

その後、安全を願う風船飛ばしやパトカーによる車両広報、寸劇で子ども向けの交通安全教室、交通量が多い交差点での自動車運転者への交通安全啓発を実施しました。

同スタート式は、「京丹後安全・安心まちづくり2015（秋）」のスタート式としても位置付けられ、この式典を皮切りに10月20日までの間、交通安全や防犯対策などのさまざまな活動が市内全域で展開されました。

安全を願い風船を飛ばす参加者たち

▲リニューアルオープンした丹後王国「食のみやこ」。夜には約60万個の電球によるイルミネーションが楽しめる。

京都府のひろば
Since 2008.09

京都府で取り組んでいる市民生活にかかわる事業などについて紹介しています。

丹後王国「食のみやこ」が大盛況!!

リニューアル後入場者数30万人突破

今年4月にリニューアルオープンした丹後王国「食のみやこ」（旧丹後あじわいの郷）の入場者数が9月28日、30万人を突破しました。

記念セレモニーで節目祝う

この日、同施設では記念セレモニーが行われ、30万人目となった、滋賀県彦根市の井上孝史さん、久美子さん夫妻に記念品と花束が贈られました。道の駅巡りが趣味で、丹後に来るのは初めてという孝史さんは、「道の駅は、その地域の特産に出会えるし、活気もある。今回の旅は、29日の私の誕生日に合わせて巡っているので、とてもいい記念になりました」と笑顔で話していました。

▲記念セレモニーで、食のみやこの宮崎副社長（左）から花束を受け取り笑顔を見せる井上さん夫妻

秋もイベント盛りだくさん

丹後王国「食のみやこ」は、4月のリニューアルに伴い入場料が無料となり、夜間営業に併せて丹後にゆかりの七姫にちなんだイルミネーションが点灯されるなど、これまでにない新たな取り組みが行われています。

さらに、地元産の農畜水産物を利用したレストランなどの充実や、丹後産米を楽しめる「米米BAR」、地酒が買えるお土産店「丹後匠庵（たくみあん）」など、府内外の来場者に丹後の魅力を満喫していただける新たな施設もオープンしています。また、秋以降もおなじみの月例祭のほか、丹後のアニメイベント「GO-TAN」や京都府漁協との連携による「お魚まつり」などのイベントが盛りだくさんです。皆さんぜひお越しください。

問 農林商工部企画調整室（☎0772-62-4315）

丹後王国「食のみやこ」イベント情報

■Go - Tan
日時：11月1日（日）9～16時
内容：アニメソングコンテスト、コスプレ撮影会、アニソンダンス大会など

■月例祭
日時：11月15日（日）9～16時
内容：ブース販売、軽トラ市、高校生レストランなど

■お魚まつり
日時：11月21日（土）10～16時
内容：丹後産水産物の販売、丹後産水産物を使用したメニュー提供、カニ牡蠣フェスタなど

輝け！丹後おんなの手作りマルシェ

●日時
11月14日（土）10～15時（与謝野駅）
12月13日（日）9～14時（久美浜駅）

●内容
あったか汁の振る舞い（12月のみ）、地元産品・ばらずしの販売など

問 京都府女性の船「ステップあけぼの」丹後地域　11月／☎0772-46-3888（小谷）
12月／☎0772-82-0687（小森）

古典の日推進事業「古典に親しみ 古典に学ぼう」

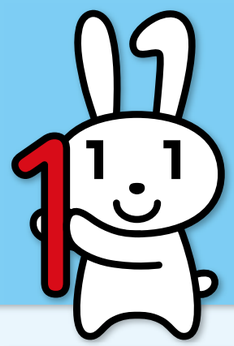
●日時
11月15日（日）12時30分～16時45分

●場所　宮津会館（宮津市鶴賀）

●内容
「ここが大好き ふるさと丹後」作文などの表彰式、受賞作品朗読発表、古典作品暗唱・朗読発表会（小・中・高校生）など

問 京都府丹後教育局☎0772-22-2175

海の京都
京都府では、「海の京都」をキーワードに、府北部地域の魅力的な観光まちづくりを進めています



行政の効率化や皆さんの利便性を高めるための「個人番号」

マイナンバー制度がはじまりました。

社会保障・税番号制度

１１月号では、「通知カード」の配達時期について、お知らせします。

Q1 10月中旬になっても、通知カードが送付されてきません。いつ頃、送付されるの？

通知カードの配達時期は、以下のとおりです。
①郵便局に差し出される時期
地方公共団体情報システム機構(J-LIS)より、10月中旬頃から順次、全国の郵便局に差し出される予定です。

【市町村ごとの郵便局への差出の状況は、以下のサイトに掲載されます。】
地方公共団体情報システム機構(J-LIS)の「個人番号カード総合サイト」
https://www.kojinbango-card.go.jp/

②郵便局から各世帯へ配達される時期
差出日から概ね7～20日程度かかる見込みです。11月中には、全世帯に配達される予定です。

Q2 不在等により受け取れなかった「通知カード」は、どうなるの？

配達されなかった「通知カード」は、郵便局で１週間保管されます。
その後、市役所に返戻されます。（市役所での保管期間は、3か月です。）
市役所に返戻された「通知カード」については、市民課からお預かりしている旨の案内をさせていただく予定です。

世帯ごとの配送状況のお問い合わせ先

◆個人番号カードコールセンター（ナビダイヤル）
【日本語対応】0570-783-578
【外国語対応】0570-064-738（英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語）

◆開設日及び開設時間
・平成27年10月1日～平成28年3月31日
平日／8:30～22:00　土日祝／9:30～17:30
（※ただし、12月29日～1月3日を除く）
・平成28年4月1日～
平日／8:30～17:30

■マイナンバー制度のお問い合わせは（全国共通ナビダイヤル）**0570-20-0178**（マイナンバー）
平日　9:30～22:00
土日祝　9:30～17:30
（年末年始12月29日～1月3日を除く）

※ナビダイヤルは通話料がかかります。※外国語対応（英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語）は0570-20-0291におかけください。
※中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語対応については、平日9:30～20:00、土日祝9:30～17:30となります。
※一部ＩＰ電話等で上記ダイヤルに繋がらない場合は、050-3816-9405におかけください。

重要なお知らせ
最近、マイナンバー制度に便乗した振り込め詐欺事件が発生しました！
マイナンバー制度に便乗した不正な勧誘および個人情報の取得にご注意ください。
マイナンバーを市役所等の行政機関が電話・訪問等により問い合わせることはありません。

DVはあなたの身近で起きている問題です。

―11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動期間」です―

ドメスティックバイオレンス（以下「DV」といいます）、性犯罪、ストーカー行為、売買春、人身取引、セクシュアル・ハラスメント等女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。

この機会に、身近な問題であるDVについて改めて考えてみましょう。

▼DVとは？

夫婦や恋人などの親しい男女（パートナー）間で起こる暴力のことです。

殴る・蹴るといった身体的暴力だけではなく、精神的、社会的、経済的、性的暴力なども含まれ、状況によっては犯罪となりえる重大な人権侵害です。（表①「DVチェックリスト」参照）

▼約10人に1人がDVを経験

市が実施した「市民意識調査」（平成26年度）では、女性の約10人に1人が配偶者などからの暴力を経験。暴力を受けた方（男性含む）の約6割が60歳以上でした。また、その時の対応としては、「何もしなかった」が一番多いという結果でした。（グラフ①参照）

▼DVの特徴や影響は？

◇暴力に気づきにくい

家庭内で起こるDVは外部から見えにくく、夫婦げんかの延長だとみなされ、周囲が気づかないうちにエスカレートするという特徴があります。また、夫婦間のことだからと、加害者の罪の意識が薄い傾向があります。

◇被害者への影響

身体的影響だけではなく、絶望感や無力感におちいるなど精神的影響を与えます。深刻な場合は、暴力を繰り返し思い出し、苦痛がよみがえるなどの症状がみられることもあります。

◇子どもへの影響

直接巻き込まれることはもちろん、心理的に傷を与えることも児童虐待にあたるとされています。（児童虐待の防止に関する法律）また、暴力でものごとを解決することを身につけてしまうなど、将来の暴力連鎖につながると言われています。

▼被害に気づいて！

被害者自身が「夫婦間のことだから我慢する」「いつか相手は変わってくれる」と考え、重大な人権侵害であると思わない場合も少なくありません。被害者自身や周囲の方がDVに気づくことが大切です。

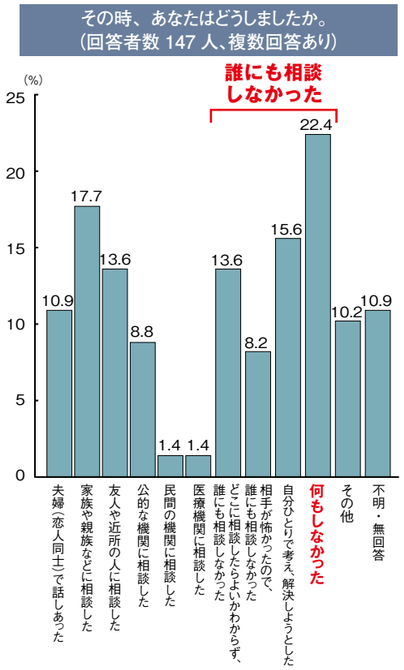
▼暴力を受けている人から相談を受けた場合、暴力を受けている人に気づいた場合

まず、真摯に話を聴き、受けとめることが大切です。どんなに親しい間柄であっても、暴力を受けてもよい人はいないということを心に留め、「あなたは悪くない」と伝えましょう。そして、一人で悩まずに相談機関に相談するよう勧めてあげてください。安易に「別れたらいい」と言わず、暴力を受けている人が自ら「こうしたい」と決めることができるよう支援しましょう。

▼もしも暴力を受けたら

プライベートな問題を相談するのは勇気のいることですが、我慢しているだけでは解決できません。一人で悩まずに、相談機関に相談しましょう。あなたや家族のプライバシーは厳守されます。

グラフ①



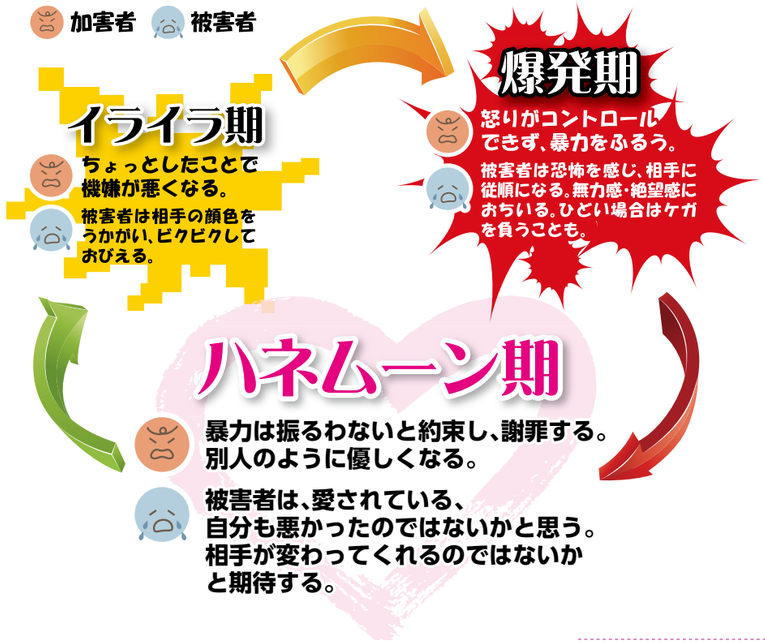
※グラフは、「男女共同参画社会に関する市民意識調査」の結果より作成。詳細は、市ホームページで公表しています。

表①／DV チェックリスト　※一例です

□	平手でうつ、げんこつでなぐる、足でける	身体的暴力
□	物でなぐる、物をなげつける	
□	髪をひっぱる、首をしめる、腕をねじる	
□	大声でどなる	精神的暴力
□	「だれのおかげで生活できているんだ」「かいしょうなし」などと言う	
□	バカにしたり、命令口調でものを言ったりする	
□	何を言っても無視をして口をきかない	
□	実家や友人との付き合いを制限する	社会的暴力
□	電話やメールなどを細かくチェックする	
□	生活費を渡さない	経済的暴力
□	外で働くなと言ったり、仕事を辞めさせたりする	
□	いやがっているのに性行為を強要する	性的暴力
□	避妊に協力しない	
□	子どもに危害を加えると言っておどす	子どもを巻き添えにした暴力
□	子どもに暴力を見せる	

暴力はくり返される

DV のサイクル



相　談　機　関

◆京丹後市女性相談

面接相談　毎月２回、各回定員３人（ひとり 50 分）
市内で開催。要予約。
お申込み／ TEL. ６９- ０２１０（市民課）
http://www.city.kyotango.lg.jp/kurashi/kankyo/sodan/sodan_j

電話相談　（平成 27 年度）毎月第４木曜日
受付時間／ 9:30 ～ 11:00 TEL. ６９- ０２１７

◆京丹後市家庭子ども相談室

月～金曜日（祝日・年末年始除く）8:30 ～ 17:15
TEL. ６９- ０３４０（緊急時は 24 時間対応）

◆京都府家庭支援総合センター ＤＶ相談専用電話

毎日 9:00 ～ 20:00
TEL. ０７５- ５３１- ９９１０

◆京都府北部家庭支援センター ＤＶ相談専用電話

月～金曜日（祝日・年末年始除く）9:00 ～ 17:00
TEL. ０７７３- ２２- ９９１１

◆京都性暴力被害者ワンストップ相談支援センター 京都ＳＡＲＡ（サラ） 性暴力相談電話

10:00 ～ 20:00（年中無休）
TEL. ０７５- ２２２- ７７１１

※緊急の場合は、迷わず１１０番へ

五穀豊穣願い多彩な伝統芸能を披露

周枳区の大宮売神社で秋祭り

10月10・11日
大宮町

大宮町周枳の大宮売神社で10月10、11日の両日、秋祭りが行われました。同区の男衆が担ぐ本神輿が区内を巡行したほか、子どもらが、太刀振りや京都府無形文化財に指定されている笹ばやし、神楽、三番叟など多彩な伝統芸能を奉納し、五穀豊穣や地域の安全を祈願しました。

同区では、各芸能ごとに区域が決まっており、各区域内の保存会から依頼を受けた“宿”を拠点に、数週間前から練習を開始。本神輿は、男性有志で構成する奉賛会のメンバーと、厄年、初婚の男性が担ぎ手となっています。

11日の午後3時頃、御旅所や地域を練り歩いた本神輿と子ども神輿、芸能を担う区民らが神社に集結。本殿手前の絵馬堂において、次々と伝統芸能が披露されました。笹ばやしに続いて奉納された神楽では、剣の舞、鈴の舞、おこりの舞が演じられ、躍動感あふれる獅子の舞に、観客から大きな歓声が沸き起こっていました。

福井利道区長は「発祥以来の宿制度や奉納儀式が、途絶えることなく継承されている事は、区や神社としても非常にありがたい事で、これにより区内が一つにまとまっていると感じている。この祭りを地域の宝として次代へ伝えていきたい」と話していました。

◀躍動感あふれる神楽の舞に歓声をあげる観客たち

「大宮売神社秋祭り」の様子

スマートフォンなどの端末を使って右のコードを読み取ると、動画が再生されます。※機種等により再生されない場合があります。

京丹後市役所

子どもたち、点字体験に夢中

「あい丹後ふれあいまつり」開催

10月4日
網野町

「あい丹後」の愛称で親しまれている社会福祉法人丹後視力障害者福祉センター（網野町）で10月4日、「2015あい丹後ふれあいまつり」が開かれました。

晴天に恵まれたこの日、会場では、点字・音訳、盲導犬体験のほか、ステージイベントや作品展示、模擬店などが行われ、府内の視覚障害者やボランティア、地域住民ら約400人でにぎわいました。

点字体験コーナーでは、来場者が、携帯用点字器を使ってオリジナルの名刺づくりに挑戦。参加した子どもたちは、慣れない作業に苦戦しながらも、点字の仕組みを学びながら夢中で取り組んでいました。

ステージでは、視覚障害者の奥野温子さん（峰山町）が琴、松本民雄さん（網野町）がキーボードの演奏を披露したほか、地域の団体や、網野中学校吹奏楽部も登場し、会場を沸かせました。

このイベントは、視覚障害者と地域住民との交流を通して、センターの役割や視覚障害者福祉について理解を深めてもらおうと、同実行委員会が毎年開催。今年で4回目となります。

◀点字体験に挑戦する子どもたち

秋祭りで黒部の踊子が巡行

子どもたちだけで民俗芸能を伝承

10月10・11日
弥栄町

黒部地区で10月10日、11日の両日秋祭りが開かれ、地区内の子どもたちが踊り子となって区内を巡行しました。「黒部の踊子」は、京都府無形民俗文化財にも指定されている由緒ある芸能。踊り子が大太鼓、腰付太鼓、摺りささらの3つの楽器を奏でながら踊るものです。

子どもたちは、8月末から連日の猛特訓。大将を務める山口和城君（弥栄中3年）の指揮のもと、練習を重ねてこの日を迎えました。藤田一彦区長は「子どもたちだけで芸能を学び、練習し、伝承していくというのも踊子の特徴。絶やさず続けていきたい」と話していました。

▶絣（かすり）の着物をまとい、楽器を持ちながら踊りを披露する踊り子たち

中学生が「地域ふれあいサロン」を体験

久美浜中3年の81人、町内14カ所で

9月29日
久美浜町

久美浜中3年の生徒81人は9月29日、久美浜町内の公民館などで、高齢者が集う「地域ふれあいサロン」を体験しました。

この取り組みは、地域の高齢者福祉について理解を深めるとともに、社会の一員として自分にできることを考え、実践する力を身に付けることなどを目的に、平成27年度「総合的な学習の時間『体験学習』」の一環で実施されたものです。

この日、生徒たちはグループに分かれ、14カ所で活動。久美浜ぎょそんセンター（久美浜町湊宮）のサロンを訪れた生徒5人は、クイズやラジオ体操、風船バレーを利用者と一緒に楽しみ、交流を深めました。最後には、利用者に対して「好きな場所」「今困っていること」などについて質問し、地域の魅力や課題を確認していました。

グループ代表を務めた豊嶋祐貴君は「おしゃべり好きの方が多く、元気でいきいきとされているのが印象的でした。普段関わりの少ないお年寄りの方の人生経験や考えを伺うことができ、とてもいい経験になりました」と話していました。

▶風船バレーを楽しむサロンの利用者と久美浜中の生徒たち

勇壮な剣の舞を披露

丹後町大山で子どもたちが刀踊

10月11日
丹後町

▶勇壮に舞を披露する子どもたち

大山地区で10月11日、秋祭りが開かれ、子どもたちが勇壮に刀の舞を披露しました。大山の刀踊は、中世末期の囃子物と呼ばれた踊りを今日に伝える数少ない芸能で、京都府登録文化財に指定されています。

志布比神社では、小・中学生の男子がシンパチ、棒振、刀踊、キャーモチカキと呼ばれる踊り子となり、大人たちの奏でる太鼓、囃子、歌に合わせて力強く舞を披露。「宝踊」「露の踊」「潮汲み踊」の3曲を奉納し、集まった住民たちを沸かせました。刀踊保存会の木本正久会長は「子どもたちが元気よく舞い、地域の皆さんがたくさん見ている中で盛大に奉納できた」と笑顔を見せていました。

5歳児52人が収穫の喜び味わう

峰山こども園で初めての稲刈り

9月29日
峰山町

▲刈りとった稲を握り笑顔をみせる園児

峰山こども園の5歳児52人が9月29日、5月に田植えを行った同園近くの田んぼで保護者らと稲刈りを体験しました。

園児たちは、長靴を履き、手に軍手、頭には手ぬぐい巻いて稲刈りに挑戦。保護者らにカマの握り方や稲の刈り方を教わり、真剣な表情で取り組んでいました。

体験を終えた西垣春輝くんは、「稲が固かったけど、簡単にできて楽しかった。またやりたい」と笑顔で話していました。

この取り組みは、米づくり体験を通して、物事に対する興味やチャレンジする“心”を育てようと同園と保護者有志が企画。中西栄一さん、宏樹さん（峰山町菅）の協力を得て行われたものです。

消防団協力事業所への総務大臣感謝状

株式会社日進製作所（本社：峰山町千歳）

総務省消防庁消防団協力事業所のうち、多くの従業員が消防団に入団している事業所として、株式会社日進製作所が総務大臣から感謝状を贈呈されました。

同社では、従業員のうち105人が消防団として活動。勤務時間中の火災や災害発生時には、消防団活動への配慮に取り組んでいるほか、2年に1度実施している操法訓練の際には、社員の訓練参加に対しても積極的な支援を行っていることなどが高く評価されました。

高市早苗総務大臣（左）から感謝状を贈呈される株式会社日進製作所東京営業所の山本一所長

高齢者叙勲 瑞宝双光章（教育功労）

秦 祐智（はた ゆうち）さん（88）（久美浜町関）

【元公立小学校長】

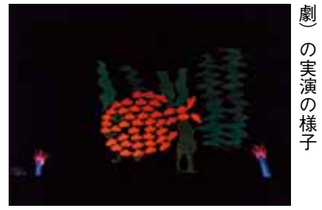
昭和23年から昭和63年までの長きにわたり教員として活躍。昭和61年からは校長を務め、地域、学校が一体となった特色のある学校づくりを進められ、経験豊かな指導力と強い責任感をもった実践力で、地域と共に歩む学校づくりに貢献されました。

平成27年度 社会福祉事業・ボランティア功労者知事表彰

大宮図書室での読み聞かせボランティアの様子

朗読ボランティア手をつなごう（代表：皿木 奈緒子 さん）

長年にわたり、大宮図書室などで、幼児や小学生、その保護者を対象とした読み聞かせを実施。また、4カ月健診の際には、ブックスタート活動に取り組むなど、大人・子どもが絵本や読書に親しむ環境づくりに貢献されました。



ペープサート（紙人形劇）の実演の様子

峰山図書館読み聞かせボランティア「わ」（代表:木成 香代子 さん）

長年にわたり、峰山図書館で、乳幼児や児童を対象に絵本の読み聞かせや人形劇を実演。また、近年では高齢者福祉施設での読み聞かせに取り組むなど、大人・子どもが絵本や読書に親しむ環境づくりに貢献されました。

公民館を開放して実施した「通学合宿」で料理に挑戦する子どもたち

オリーブの会（代表：吉岡 喜三雄 さん）

長年にわたり、峰山町吉原小学校区において、小学校や地域の公民館、寺などを開放し、子どもの遊び場を提供。また、専門家を招いた子育てに関する座談会を開催するなど、地域で子どもを育む環境づくりに貢献されました。

みんなの声

広報クイズの応募はがきから

▼テレワーク実証事業という新しい文言が期待感を持たせてくれました。市の発展に繋がって欲しいです。【丹後町・60代・女性】

▼マイナンバー制度について、わかりやすい特集でした。少し複雑な制度や新しい取り組みについては、是非広報誌でもわかりやすい解説をしていってほしいです。【峰山町・40代・男性】

▼毎回話題の豊富さに楽しみに見ています京丹後の名所やいろんな穴場が有れば伝えてほしいです。【弥栄町・40代・女性】

▼広報を読ませてもらう度に、地元に居住している様な気にさせられます。故郷の好況を意に感じ置く様、毎号応募させてもらいます。市内各地の「まつり」の様子など、シリーズで編集してもらえれば、なお懐かしさが深まるかなと思ったりもしています。【京都市・60代・男性】

▼文化に興味があります。地元でも文化活動に取り組んでおられる方、作品等、どんどん紹介してほしいです。〝文化de丹後〟のコーナー楽しみにしています。【弥栄町・50代・女性】

このコーナーでは、地域の方から旬の食材を使った料理を教わり、料理初心者の広報マンが、レシピと共に体験レポートを紹介します。

カレイのへしこペペロンチーノ

材料（1人分）

・パスタ	…100g	・ブラックペッパー	…お好み
・カレイのへしこ	…半分	・ふりかけ	…お好み
・みょうが	…1個		
・かいわれ大根	…1パック		
・オリーブオイル	…大さじ2～3		
・鷹の爪	…1個		
・にんにく	…1片		

今回はへしこのレシピと、へしこを使ったご飯にも合うふりかけレシピもお伝えします！

下ごしらえ（カレイのへしこ）

前日準備をオススメします！

・カレイ（一夜干し）…1枚
・塩 …適量
・一味唐辛子 …適量
・米ぬか … 適量

1. カレイを5枚におろし（皮は残しておく）、ひとくちサイズに切る。
2. 一味唐辛子と塩（ふたつまみ）をふりかけ、3時間程寝かす。
3. 米ぬかを、フライパンで乾煎りする。（ぬかを触って熱いと感じる程度）
4. 2で寝かしたカレイに再度一味唐辛子を振りかけ、米ぬかを全体にまぶしたら、重しをして冷蔵庫で5～6時間寝かす。

下ごしらえ（ふりかけ）

・ひじき（乾燥）…30ｇ
・砂糖 …大さじ3
・醤油 …大さじ3
・カリカリ小梅 … 3粒
・ごま … 大さじ3
・カレイのへしこ … 半分

1. 乾燥ひじきを少なめの水で戻し、醤油と砂糖で濃いめに味付けをする。煮汁がなくなり、乾煎り状態になるまで炒める。
2. カリカリ小梅、ごま、焼いたへしこ（作り方の2を参照）を包丁で細かく刻み、1のひじきと混ぜたら完成

作り方

1. みょうがを千切りにし、かいわれ大根と一緒に水につけておく。
2. グリルでカレイのへしこを皮の付いた面を上に弱火で4分焼く。焼けたら返して1分程焼く。焦げめがつく程度でOK。
3. パスタをゆでる。（ゆで時間は包装に書いてあるとおり。1分前にあげると良い）。
4. フライパンに細かく切った鷹の爪とにんにく、オリーブオイルを入れ弱火で火にかける。油が温まってきたらパスタのゆで汁180mlを入れる。
5. ゆで上がったパスタをフライパンに移し、ブラックペッパーをふりかけ絡める。4で入れたゆで汁がなくなったら2のへしこを入れてさっと絡め、お皿に盛り付ける。
6. 最後に、かいわれ大根、みょうがをパスタの上にのせ、ふりかけをかければ完成。

教えてくれたひと

今出 龍（たつる）さん（丹後町）

サバのへしこはよく作るのですが、カレイのへしこは初めて挑戦しました。脂がのったカレイをへしこにすると意外と美味だということが分かりました。そこで、カレイのへしこを使った“お箸で食べる和風パスタ”を考えました。へしこから塩分が出るため、味付けの塩は少なめでOK。和風の海鮮パスタ、是非作ってみてください。地元の食材を食べて元気出して頑張っていきましょう！

体験レポート

今回は、地元でとれた食材（カレイ・ごま・みょうが）を使った料理を教えていただきました。パスタにふりかけという斬新なアイデアに驚きでしたが、海産物・農産物をはじめとする「和」とイタリアンのコラボメニューとなりました。

ふりかけはパスタの他にも、ごはんにかけても良し、他の料理のアクセントにしても良し。時間があれば、カレイの骨を1日干して、から揚げにして刻んだものをふりかけに加えるとカルシウムたっぷりで良いとのこと！是非、チャレンジしてください。

3人の新任ALTを配置

外国語教育の充実と外国文化の理解を

市では、外国語教育の充実を図るとともに、国際理解教育の推進を図るため、ALT（外国語指導助手）を配置しています。3人のALTの離任にともない、新たに3人のALTを任命し、市内の中学校での英語指導、小学校訪問などを行っていただきます。直接生きた英語や外国文化に触れることにより、生徒たちが多くのことを学んでくれることを期待しています。

コートニー ウィルキンズ
Courtney Wilkins
出身国：アメリカ
配置：峰山町
はじめまして！アメリカのコロラド州から来ました。峰山のALTです。よろしくお願いします。

ジェレミ オーデン
Jeremy Odden
出身国：アメリカ
配置：網野町
はじめまして。アメリカのシアトルから来ました。網野町で働きます。皆さんにお会いできるのがとても楽しみです。

ハンナ エザック
Hannah Azok
出身国：アメリカ
配置：久美浜町
アメリカから来ました。久美浜の新しいALTです。剣道やビデオゲームや旅行をすることが好きです。

A bond of life

生命の絆

生まれてきてくれてありがとう

このコーナーでは、弥栄病院で赤ちゃん誕生の瞬間を喜ぶご家族の姿を紹介します。
ご応募いただいた全ての方を掲載しています。どしどしご応募ください。

野村 莉子ちゃん（女の子）
9月生まれ・2,994グラム
母：友美さん　父：猛さん
（久美浜町永留）

金久 輝優ちゃん（男の子）
9月生まれ・3,348グラム
母：千夏さん　父：聡志さん
（弥栄町溝谷）

さとがえり

秋田 菜月ちゃん（女の子）
9月生まれ・2,928グラム
母：郁子さん　父：真吾さん
（福知山市／実家：網野町下岡）

澤 花純ちゃん（女の子）
9月生まれ・3,210グラム
母：育子さん　父：元蔵さん
（網野町網野）

さとがえり

坂根 将太朗ちゃん（男の子）
9月生まれ・2,544グラム
母：知絵さん　父：幸兵さん
（京都市／実家：峰山町久次）

さとがえり

山口 想真ちゃん（男の子）
9月生まれ・2,968グラム
母：真美さん　父：悟史さん
（大阪府吹田市／実家：丹後町間人）

健康だより

塩分のとり過ぎは高血圧や胃がんの原因に

減塩しましょう！

食塩摂取量の目標	
男性	8g未満
女性	7g未満

厚生労働省「日本人の食事摂取基準（2015年版）」

今年度から、総合検診の検査項目に、「塩分摂取量」が加わりました。これは尿のナトリウム濃度とクレアチニン濃度により、前日の１日の塩分摂取量を計算したものです。皆さんの結果はいかがでしたか？

塩分は体にとって必要なものですが、とり過ぎると胃がんのリスクが高まったり、血圧が上昇したりするなど、皆さんの健康を脅かすものになります。

日本の食生活では、伝統的にしょうゆやみそ、漬物など塩を用いた調味料や食品を多くとる傾向があります。めん類の汁は残す、風味づけに香味野菜を使うなど、できるところから減塩に取り組んで、うす味に慣れていきましょう。（健康推進課☎ 69-0350）

☆食事に含まれる塩分量の目安

※品物・製法・調理法により多少の差があります

日本高血圧学会「さあ、減塩！減塩委員会から一般のみなさまへ」
「減塩のコツと塩分の多い食品・料理」より作成

☆調味料の塩分

	大さじ1	小さじ1
濃口しょうゆ	塩分 2.6 g	塩分 0.9 g
薄口しょうゆ	塩分 2.9 g	塩分 1.0 g
食塩	塩分 17.8 g	塩分 5.9 g
あら塩	塩分 14.5 g	塩分 4.8 g
みそ	塩分 2.2 g	塩分 0.7 g

☆減塩のコツ

①新鮮な食材を用い、素材の味を生かした料理を
調味料の味ではなく、食材の持ち味を生かしましょう。

②香辛料、香味野菜や果物の酸味を利用する
こしょうや七味、しょうが、ねぎなどを組み合わせていただきましょう。

③だしをしっかりきかせて調味する
昆布やじゃこ等、だしの味を生かせば汁物や煮物の塩分を少なくできます。

④具だくさんのみそ汁にする
具をたくさん入れると素材の旨味がたっぷり出て、薄味でも美味しく感じられます。具をたくさん入れることで、汁も少なくなります。

⑤外食や加工食品を控える
目に見えない塩が隠れているので注意しましょう。

⑥漬け物は控える
できるだけ食べる頻度を少なくしましょう。

⑦調味料をかけすぎないように
まずは味をみて、かけしょうゆが必要な時は少量にしましょう。

⑧めん類の汁は残す
全部残せば、２～３gの減塩になります。

⑨野菜や果物をしっかりとりましょう
野菜や果物に多く含まれるカリウムが、ナトリウム（塩）を体外に排出してくれます。野菜は１日 350 gを目標に、しっかりとりましょう。

京丹後市の文化財 115

奈具岡遺跡出土品

丹後を代表する玉作り工房からの出土品

奈具岡遺跡（弥栄町溝谷）は、国営農地開発事業に伴い発掘調査が行われ、弥生時代中期の玉作り工房の跡が見つかりました。

丘陵に挟まれた谷の斜面を削って造られた竪穴建物の中では、緑色凝灰岩や水晶を加工し、ネックレスに使われた管玉や勾玉、小玉、棗玉が造られていました。また鉄を加工した鍛冶工房やガラスを加工した痕跡が見つかっています。

奈具岡遺跡では大量に水晶玉が造られていました。しかし弥生時代の丹後では、後期前半の三坂神社三号墓（大宮町三坂）から見つかっているのみで、当時の日本全体を見渡してもあまり出土していません。そのため、当時大変貴重であったガラス素材や鉄製品を朝鮮半島などから入手するための輸出品として造られたとする説もあります。

このように奈具岡遺跡出土品は、当時の丹後を代表する玉作り工房からの出土品である点が評価され、平成16年6月26日付けで重要文化財（考古資料）に指定されています。

奈具岡遺跡出土水晶玉（京都府所蔵、公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター保管）

奈具岡遺跡出土品は、京都文化博物館で開催する「日本のふるさと大丹後」展で展示されます。（12月5日～1月17日）

Pick-up

水をつなぐクリーン大作戦を実施

約400人が流域を超えた清掃活動を展開

◀峰山中学校陸上競技部の生徒による小西川での清掃活動の様子

森、河川、海の維持、再生を目的に、河川の上流から下流までの流域全体で清掃活動を行う「水をつなぐクリーン大作戦」が9月19日、市内全域で展開されました。

毎年「歴史街道丹後100kmウルトラマラソン」の前日に市が呼び掛けているもので、今年で4回目。当日は、趣旨に賛同した団体や企業をはじめ、地域住民、学生ら約400人（市が把握できている人数）が参加して、市内各地で清掃活動に取り組みました。

峰山町では、峰山中学校陸上競技部の生徒29人が、小西川でのクリーン作戦を実施。水につかりながら水中のごみを拾うなどして、約2時間作業を行い、空き瓶やペットボトルなど、さまざまなごみを回収しました。このほか、網野町の海岸や、弥栄町の丹後王国「食のみやこ」周辺、市内各地の沿道でも活動が展開されました。

大宮町出身 谷口謙さん 市に1億円を寄附

「就学が困難な子どもたちの支援を」

◀中山市長から感謝状を贈呈される谷口謙さん（写真左）

京丹後市大宮町の出身で、京丹後市名誉市民の谷口謙さん（岐阜県在住）から、経済的理由により就学が困難な子どもたちのための就学資金として、市に1億円の寄附金をいただきました。これを受け、中山市長と米田敦弘教育長は9月26日、谷口さんを訪問し、感謝状を贈呈しました。

谷口さんは、昭和25年、大宮町に内科・小児科医院を開業。以後平成21年までの60年間という長きにわたり、地域医療に貢献されました。また、谷口さんが医師を目指す大学時代に、父・海山さんが他界し、終戦後という時代背景の中、学費や生活費において苦労した経験から「自分と同じように学費等に困っている学生のためになれば」と、これまでから、本市へ多年にわたり多額の寄附をいただいています。

このたびいただいた寄附金についても、谷口謙さんの意向に沿って活用させていただきます。

ジオトピックス

「山陰海岸ジオパーク120kmウォークin京丹後」を開催

ガイド受けながら散策 ジオの魅力を体感

ガイドポイントの立岩周辺で、説明を受けながら美しい景色を楽しむ参加者たち

「山陰海岸ジオパーク120kmウォークin京丹後」が10月4日、丹後町で開催され、市内外から57人が参加しました。

ウォーキングコースは、道の駅てんきてんき丹後から、立岩、大成古墳群、屏風岩、丹後松島展望所、犬ヶ岬を巡る約14km。参加者たちは、5カ所のガイドポイントでNPO法人まちづくりサポートセンターのガイドによる説明を受けながらウォーキングし、美しい景色を楽しみました。

120kmウォークの取り組みは、山陰海岸ジオパークの魅力を発信するとともに、エリア内外の住民同士の交流を促進し、地域活性化を図ろうと、同実行委員会が主催。平成30年2月4日までに合計120kmのウォーキング達成を目指してもらうよう、山陰海岸ジオパークエリア内の各地で対象となるウォーキングイベントが開催されています。皆さんもぜひ挑戦してみてください。（観光振興課）

市長エッセイ

和気泰来 40

ジオパークは地球環境と調和した新しい時代の地域づくり

先日、日本ジオパークネットワークの記念すべき第1回のガイドフォーラム及びアジア太平洋世界ジオパークネットワークの総会が、本市をはじめ、山陰海岸ジオパークの各地で開催され、尾池委員長をはじめ、多くの皆様を全国各地とアジア太平洋の各国からお迎えでき、大変嬉しく思っています。

世界ジオパークに認定される「山陰海岸ジオパーク」は、御案内のとおり西は鳥取県の鳥取市、岩美町、中央に兵庫県の新温泉町、香美町、豊岡市、そして東は京都府京丹後市に至るまで東西120km、南北約30kmにも及び、本市の数々の重要なジオサイトのほか、国際的にも重要なジオサイトである豊岡市の玄武洞、鳥取市の鳥取砂丘をはじめ、日本海の形成から現在に至るまでの歴史を確認できる、多様な地質、地形が存在していることが特徴です。

このように、山陰海岸ジオパークは、地球の歴史の中で日本列島と日本海形成のドラマを刻む地形や地質の、いわば博物館ですが、中緯度で深度の深い縁辺海である日本海の影響により、「地形、地質の多様さ、四季の調和と美しさ、それを背景にした生物の多様さと人の生活の豊かさ」が大きな特徴の一つであり、人が生き生活するためのあらゆる生活環境の形成に関わりが深く、歴史を通じて人の生活と共に歩み続けてきたジオパークでもあります。

このため、私たち市民にとって、ジオパークについて学び、活動することがまちづくりを深めていく活動そのものであり、ガイドの皆さんには、もちろん訪問いただいた方々への案内役という大切な役割とともに、それにとどまらず、私たち市民にとってのまちづくりの尊い指南役として、まちづくりをリードするエンジンの役割も担っていただいていると、深い感謝をしています。

加えて、山陰海岸ジオパークの大きな行政的特徴としては、三府県三市三町にまたがっており、ガイダンスの場合にも、多様なジオサイトの広がりと、地元の特定のサイトの専門的な深まりが、ともどもに必要とされる難しさもありますが、それだけに、多くのサイトを単に足し合わせるだけでなく、一つのサイトに他のサイトの魅力を映しこみ重ね合わせ、さらに全体を物語にすることで、全体の魅力が3倍にも9倍にもなっていくことを通じて、「この大切な地球を、もっと大切に！もっと関心や愛情を注いでいこう。」という活動でもあります。

私たちは、このジオパークのまちづくりを通じて、ジオパークに象徴される地域や世界の「自然環境」に一層の愛情を注ぎ、地球環境と調和して持続発展していく「新しい時代の地域づくり」のあり方を、日本各地やアジア太平洋はじめ世界各地の皆さんと交流を深めながら、共有して発展させていきたいと願っています。

京丹後市長　中山　泰

三重九重の物語へと、それこそ、ガイドさんが率先して交流や研鑽を深められながら、大きく育み、創っていただいていることに敬意を深くしています。

今回のガイドフォーラムにより、全国各地のジオパークのガイドさん相互の交流が深められることにより、各地のジオパークの魅力に、他の地域のジオパークの魅力を映しこみ重ね合わせていただくきっかけとなり、各地のジオパークの魅力が連なりゆく物語が深まり、各地と日本のジオパーク全体の魅力がますます広がりゆく、実り多い機会となったことと思っています。

そして何より、ジオパーク活動自体、貴重な地質を保全し、学びや活用を進めることを通じて、

図書館だより

◆開館時間／10時～18時（峰山・あみののみ水曜は19時まで）
毎週月曜・毎月1日は休館日（8月30日までは9時開館）
◆貸出／1人20点まで・2週間
◆園／峰山図書館（☎62-5101） 大宮図書室（☎69-0672）
あみの図書館（☎72-4946） 弥栄図書室（☎65-2101）
久美浜図書室（☎82-1771） 丹後図書室（☎69-0664）

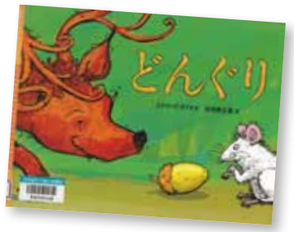
11月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	12/1	2	3	4	5

今月のおすすめ

◉『どんぐり』 子ども向け

エドワード・ギブス／作
谷川 俊太郎／訳
光村教育図書



きいろいどんぐりがひとつ、ころがった。動物たちがやってきて「おいしそう…」。でも、どんぐりから「おねがいいまはたべないで、もっとおいしくなるから」といわれたの。そのうちどんぐりからめがでて、大きなかしのきになった。ころん…どんぐりがひとつ、ころがった。

◉『永い言い訳』 大人向け

西川 美和／著
文藝春秋

突然事故で妻を失った作家、津村。妻から心離れていた津村は、喪失感を感じることもなかった。だが、同じように事故で亡くなった、妻の友人の遺された家族と関わっていくことで、妻に向き合い、自分に欠けていたものを取り戻していこうとしていく、永い時間をかけて。

平成27年度読書週間
10月27～11月9日

＜図書館 豆 知識＞

“読書の秋”と言われるのは、どうして？

中国の唐時代の詩人 韓愈（かんゆ）の漢詩に「燈火稍く親しむ可く」という一節があります。これは、「秋の夜は長くて、涼しいく気持ちが良い、灯光の下で読書をするにはいい季節だ」といういみで、秋は読書にふさわしい季節ということを表しています。ここから「読書の秋」のという言葉が生まれたと言われています。

また、明治時代に読書推奨のため11月17～23日を「図書週間」として定めていました。このことから、秋に読書をする習慣ができてきたとも言われています。

「図書週間」は、一旦廃止になりましたが、終戦後、“読書の力によって、平和な文化国家を創ろう”と、「読書週間」として開催されるようになりました。

秋のおはなしコンサートを開催

楽器の生演奏とともに絵本の読み聞かせを楽しむ参加者たち

大宮図書室で9月12日、秋のおはなしコンサートを開催しました。この日は、ヴァイオリン、琴、ピアノの生演奏とともに、絵本の読み聞かせを実施。参加した児童ら51人は、じっくりと聞き入っていました。読み聞かせの後は、ヴァイオリン体験も行いました。

京都府丹後文化会館 インフォメーション

～ココロとカラダに優しい歌薬～

沢田知可子

アコースティックコンサート

12／6（日） 前売券発売中

時 開演13：30（開場13：00）
所 京都府丹後文化会館（峰山町杉谷）
料 一般3,000円／高校生以下1,500円
※当日各500円増 《全席指定》
友の会会員前売りのみ2,700円（2枚まで）
主催／京丹後市・（公財）京都府丹後文化事業団
問 京都府丹後文化会館 ☎62-5200

プレイガイド（前売所）
【京丹後市】（峰山町）京都府丹後文化会館、マルヨシ書店、㈱淀徳商店、宮田教育堂、マイン、たつみ印刷／（大宮町）田崎書店／（網野町）モリノ／（丹後町）小市郎商店／（弥栄町）㈲平井商店／（久美浜町）イケダ堂
【丹後各市町】㈱にしがき全店
【与謝野町】中上写真館ウイル店
【宮津市】㈱宝来屋
【福知山市】㈱福島文進堂
【豊岡市】豊岡市民プラザ

1. 大宮町周枳・民芸保存会笹囃子組による「弁慶おどり」 2. 峰山東地区・杉若太鼓保存会による「杉若太鼓」（子ども太鼓） 3. 4. 大宮町森本・森本区による「太刀振り」と「笹ばやし」 5. 大宮町奥大野・倉垣太刀振り保存会による「太刀振り」 6. 網野町下岡・三番叟保存会による「下岡三番叟」 7. 峰山町新町・新町区芸屋台保存会による「芸打ち」（小・中学生） 8. 峰山町久次・久次伝統芸能保存会による「旧太刀」

京丹後郷土芸能祭「丹後の祭り」を初開催

7地域の多彩な郷土芸能が一堂

京丹後郷土芸能祭「丹後の祭り」が10月3日、京都府丹後文化会館で開かれました。市内7団体が出演し、太刀振りや笹ばやし、三番叟、太鼓など、多彩な郷土芸能を披露しました。

この取り組みは、少子高齢化などにより各地域で祭礼行事への参加者が減少する中、古くから受け継がれてきた郷土芸能を後世へ伝えるとともに、伝統文化の魅力を発信しようと、京丹後文化のまちづくり実行委員会が初めて開催したものです。

会場いっぱいに詰めかけた観客は、「他地域の芸能を鑑賞できる良い機会」「祭り当日は忙しくてじっくり見られないが、今日はゆっくり楽しめる」などと口々に話しながら、ステージを鑑賞していました。

このほか会場では、各地域の祭りを収録した記録映像の放映や久美浜一区自治振興会による祭り関連品の展示も行われました。

広報クイズ

今月号の記事の中からクイズを出題します。全問正解者の中から抽選で5人に図書カード500円分をプレゼント！

問1 網野・久美浜地域で「○○乗合タクシー」運行スタート
問2 丹後王国「食のみやこ」入場者数「○○万人」を突破
問3 峰山高等学校「○○○○研究部」が全国大会出場へ

◆応募方法
はがきに ①クイズの答え（○の中に入る数字や文字） ②住所 ③氏名〈ふりがな〉 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥広報紙の感想やイラスト、取り上げてほしいテーマなどをご記入の上、秘書広報広聴課まで（宛先は裏表紙を参照）。なお、お寄せいただいた感想やイラストは広報紙に掲載することがあります。※⑥の項目も忘れずにご記入ください。

◆応募締切
11月13日（金）当日消印有効。ウェブサイトからの応募も受け付けます。(https://www.shinsei.elg-front.jp/kyoto/uketsuke/sform.do?acs=kohoquiz)
QRコードからもアクセスできます

◆10月号の答え
問1…テレワーク 問2…梨 問3…630

◆10月号当選者
大木敏正さん（大宮町）、堀松憲さん（網野町）、吉岡妙子さん（網野町）、岸田朋子さん（網野町）、黒岩益実さん（群馬県）
応募総数30人、全員正解でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

Kia 京丹後市国際交流協会

国際理解教室 筑前琵琶演奏・講演会

青い目の筑前琵琶奏者
～日本の伝統を受け継ぐスイス人音楽学者～

11／14（土）
19：00～20：30（開場18：30）
場所：如意時（久美浜町1845番地）
内容：日本の琵琶に魅せられ、筑前琵琶橘会師範の資格を取得したスイス出身の音楽学者、シルヴァン・旭西・ギニャール師による、琵琶の演奏と講演会。
参加費：無料

多文化共生推進ワークショップ in 京丹後市

～地域で育む多文化共生～

11／11（水） 13：30～16：30
場所：アミティ丹後（網野町網野367番地）
内容：これまでの多文化共生の取り組みを振り返り、改めて現状・課題を分析し、今後の多文化共生施策を探ります。多文化共生マネージャー全国協議会代表理事の田村太郎氏による基調講演、京丹後市在住外国人市民などによる事例発表など。
参加費：無料

お申し込み・問い合わせ
京丹後市国際交流協会事務局（☎69-0120FAX69-0901）
E-mail:kokusai_koryu@city.kyotango.kyoto.jp

navi navi navi navi navi navi navi

若者・よう者・ばか者がまちをかえる
若さあふれるひと・地域のよさを発見してくれる人・ひとつのことにあつくなり打ち込むヒト

kyotangojin

京丹後人 67

全国ロボット競技大会出場決定!!

峰山高等学校 ロボット研究部

▶右から顧問・岸本彰基教諭、中西郁樹君、永島純太郎君、清水海斗君、藤原大輔君、矢谷涼太君、顧問・宮部和真教諭（中央は製作したロボット）

自力の製作を原動力に 全国の舞台へ発進

創部22年目の府立峰山高校ロボット研究部が9月19日、京都府高校ロボット競技大会で3位入賞し、自力の出場としては初※となる全国大会への切符を手にした。部員たちは、11月1日の本番を前に最終調整に入っている。同部の舵を切る部長の永島純太郎君に、ロボット大会への思いを伺った。

（※）峰山高は、過去に「学校枠」で全国大会に出場しています

◆ ◆ ◆

「ロボット競技の醍醐味は、厳しいルールをどう乗り越えるか知恵を絞り、いろんな方法を試しながらロボットを動かすこと」と話すロボット研究部部長の永島純太郎君（2年）。

ロボット競技は、毎年ルールが大幅に変わるのが特徴。今回の地方、全国大会は、全国大会が三重県伊勢市で開かれることにちなみ、真珠貝から真珠を取り出し、装飾台に置くまでを得点として競技するイメージ。段差や坂を乗り越え、バレーボールやプラスチックカバーに隠れたテニスボールをロボット内に取り込み、不安定で細い円柱の上に置くまでのタイムを競うという〝いじわる〟な設定。3分の制限がある中で、より早く、正確に計9個のボールを置いたチームが勝利するというものだ。

ロボット研究部員は、2年生2人、1年生3人の計5人。永島君は「部員は少ないし、入部の目的もさまざまだけど、その分、何でも言い合えるし、いろんな角度からアイデアも出る」とチームを誇る。部員の多くは、ロボット競技のこともほとんど知らなかったが、顧問の宮部和真教諭の勧めで昨年の府大会に出たことを期に、ロボット競技への熱を入れ始めた。部員たちは、放課後の約3時間のほか、夏休みや休日も返上。〝工具を片手にあれこれ触っていると、すぐに日が暮れる。教室では時間が長く感じるが、部室では一瞬で時が過ぎる」と笑う。

こだわりは、「みんなで、自力でやること」。

今年は大会ルールが確定した4月早々から、入部したての1年生とともにコースを研究してロボットを設計。「みんなが思うロボットのイメージを全部形にしたい」と永島君が話すとおり、何度も作っては失敗、作っては失敗を繰り返しながら製作し、失敗のたびに全員で意見を出し合った。「ある程度は、顧問の教諭や保護者が手伝う学校もあると聞く」というが、全ての工程を部員のみで分担し、1年生も責任を持って製作することにこだわった。永島君は「みんなで考え抜いて作ることで、納得できるロボットに仕上がったし、昨年の府大会で予選敗退した悔しさが自分たちを成長させ、今回の入賞につながった」と胸を張る。

全国大会は、各地から128校が集まる。強豪校、常連校がひしめき合う中、予選を突破できるのは32チームだ。目標は「予選突破」。現在部員たちは、全国大会へ向けてロボットの改良を急ピッチで進めている。「少しでも消費時間を少なくしたい」といい、ボールを取り込むアーム部分や、ボールを上手に置くための機構部を、素材や動き方を変えながら最終調整する。

「ゼロからロボットを作り上げ、それを動かすときの気持ちは何ともいえない」と永島君。「全国大会では、自分たちのロボットを見せるのも、全国から集まった凄いロボットを見るのも楽しみで、今からドキドキする」とはにかむ。

視線の先には、全国の舞台が待っている。

つぶやき

秋祭りが終わると、地域がピタッと静かになり、夜も急に涼しくなる気がします。冬が苦手で祭男の私は、この時期、本当に寂しく、迫ってくる冬の足音におびえる毎日です▼今月の表紙では、眼光鋭い獅子を見て泣き出す子どもや、その周りで祭を楽しむ人たちにスポットを当てています。こうした場面は祭ならではの光景ですね▼私も小さい頃は獅子が怖くて、毎年、神楽の巡行が家に来ると、押入れに隠れていました。ある年、神楽の音がやんだため押入れから顔を出すと、縁側に獅子頭が無造作に置いてありました。このとき、頭の中で獅子が「怖い者」から「置き物」になり、何だか愛着が湧いたのを覚えています▼現在私の地区では、人不足で神楽の巡行をしていませんが、何とか復活できないものかと密かに思っています。こうした祭ならではの思い出やエピソードを、次代の子どもたちにも感じてもらいたいですよね／遼

人口・世帯数

男	27,810人	（－33）
女	29,973人	（－27）
計	57,783人	（－60）
世帯数	22,691世帯	（－10）

10月1日現在、カッコ内は前月比。

住民基本台帳（**外国人含む**）による。

FMたんごネット放送開始

パソコンやスマートフォンからFMたんごのラジオ放送を聞くことができます。詳しくは、FMたんごホームページ【fm-tango.jp/】でご確認ください。

発行／京丹後市役所 編集／秘書広報広聴課
〒627-8567 京都府京丹後市峰山町杉谷889
☎0772-69-0110 FAX0772-69-0901
HP http://www.city.kyotango.lg.jp
hishokoho@city.kyotango.lg.jp